

VI. 2022年度活動計画(案)

コロナの感染はまだ予断を許さない状況ではありますが、制約が緩和されることを想定して、以下のように活動計画を立てます。

1. 自主防災組織活動方針

- ①“自分の命は自分で守る。我々の街桜ニュータウンは住民みんなで守る”を基本理念として、当面予想される大地震や火災、台風等の被害を軽減・防止するため、平常時における防災知識の普及・啓発・広報につとめる。車いす救出支援講習会、救急救命講習会、防災訓練、防災住民意見交換会、を開催して災害時に備える。9月と3月に防災の日と防災週間を設定し、各家庭の備蓄品等の確認を行って頂くとともに、ペットボトル水の購入斡旋を行う。
- ②井戸水の水質確認を行うとともに、災害時の生活用水を確保するため、中央公園に災害用井戸を整備する計画の住民合意をはかる。
- ③オープンな防災会議をめざし、防災会議の開催案内を広く会員の皆さまにお知らせします。
- ④2ヶ月に1回の割で防災役員会を開催し、運営の確認と問題点の審議を行う。

2. ひなん支援部会

- ① 災害時ひなん支援希望者調査を実施(5月予定)し、災害時に備える。
 - ・支援希望者リストを更新し、必要に応じてサポーターを決める。
 - ・安否確認で使用する名簿と地図を作成し、倉庫に保管する。
 - ・支援希望者宅の訪問を年3回実施する。
- ② 災害時、支援希望者の方や動けなくなった方を救出する技術を身につける講習会の開催。
今年度は「車いすへ移行させる、車いすの扱い」(6、7月頃)
- ③ 防災訓練で安否確認を担当する。

3. 情報部会

- ① 自主防災活動の広報
 - ・「防災だより」を発行して各種催し物の案内や報告、防災に役立つ情報を紹介する。
 - ・掲示板の有効活用を図り、各種案内・情報が全住民に伝わるようにする。
 - ・ホームページによる訓練や講習会のお知らせ、防災だよりの掲載、自主防役員会の議事録など随時更新を行い、自主防災組織の活動状況が分かるようにする。
 - ・災害時には掲示板、ホームページ、防災メール、街宣車を使用して情報を提供する。
 - ・防災メールの登録者数の拡大を目指し、異常気象が予想される場合や周辺での災害発生状況、さらには防災メールを利用して県警などからの防犯情報など、注意喚起の発信を行う。
- ② 防災訓練
 - ・防災訓練の際に、地震発生の防災メールを発信する。家族で2名以上防災メール登録者がいる場合、家族お一人からの返信でなく、登録者全員からの返信を求めるようにする、メール登録者との通信確認の機会とする
- ③ 防災について考える会
 - ・防災住民意見交換会を「ちょっと防災について考えよう」シリーズとして防災井戸や、避難の仕方、避難所の在り方などについて、楽しみながら学んだり考えたりする会として開催する。

4. 訓練部会

- ① 防災訓練(10月頃)
 - ・安否確認
 - ・災害対策用資機材の取り扱い説明、使用体験の実施
 - ・消火栓取扱訓練
- ② 救急救命講習会の開催(2月頃)